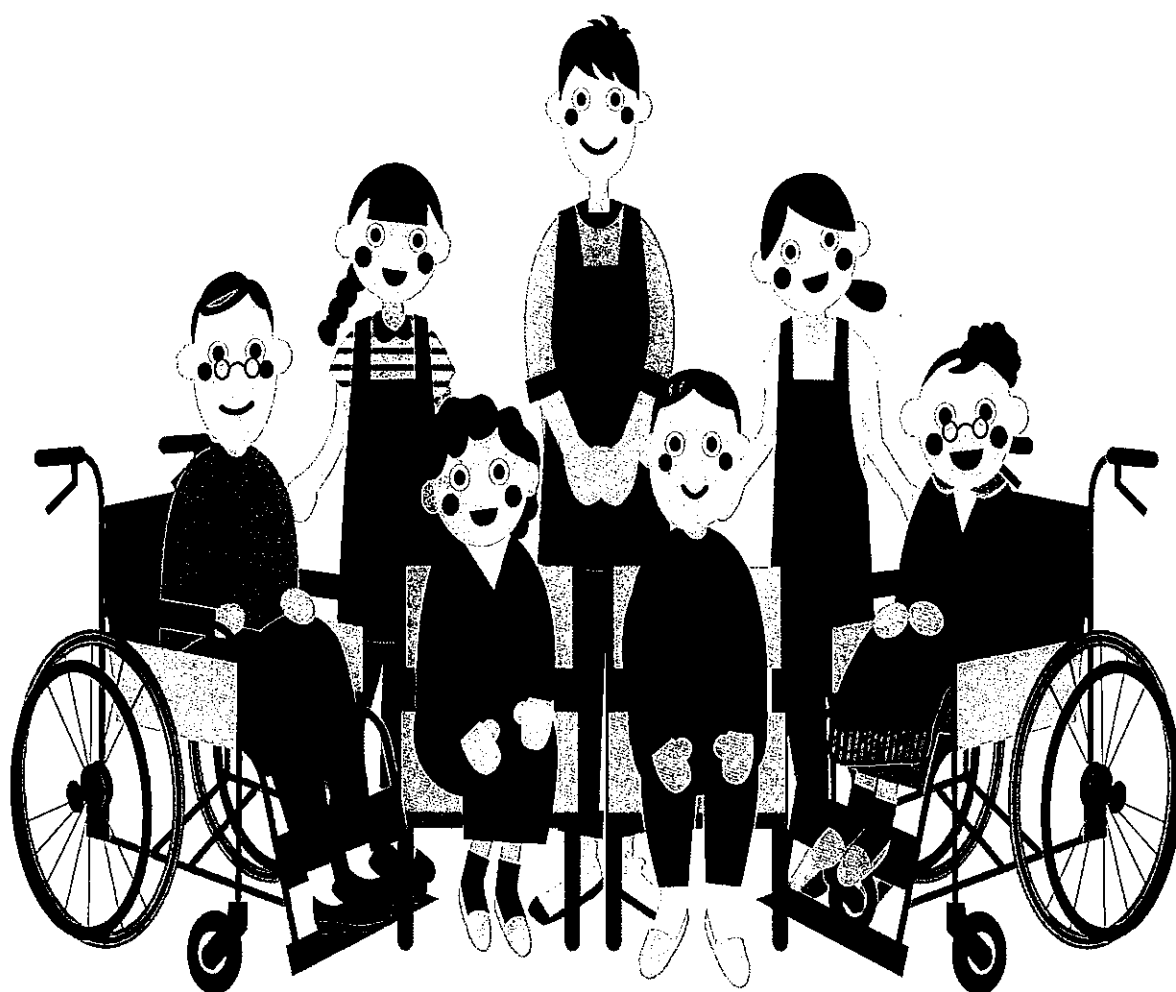




# 令和3年度 サービス評価 「事業所自己評価」



小規模多機能ホーム寄宮

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月21日(18:00~19:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	1人	0人	15人

前回の改善計画

4/1 までには利用者の要約した情報を申し送り帳に付け加え、目を通しておけるようにする。  
4/1 までにメモ帳配布し職員は何かあったことをメモする。ミーティングではリーダーが職員から確認し情報を共有できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

4/1 までにメモ帳を配布したことで伝達事項や気付きを記録し職員間で共有できた。  
4/1 までに利用者の要約した情報を作成、毎日のミーティングで申し送りと共に活用することができた。  
メモ帳の活用方法を工夫し、情報共有に役立てる職員がいて参考になった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	⑨	2	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	⑧	2	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	⑧	2	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	⑦	5	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・要約した生活情報などの一覧や申し送り帳を用い、リーダーがミーティングで率先して情報共有を行うことができている。出勤後申し送り帳に目を通すことでも再確認もできている。
- ・送迎時での家族との何気ない会話が、職員間での情報共有で不安を取りのぞくきっかけとなった。
- ・多くの職員が声掛けを大事に思って実践している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者情報を持った職員の伝え忘れがあり、情報共有ができず、「知らなかった」となることがある。
- ・逆に伝えているのに集中していなかったことや情報が多すぎて、「忘れてしまった」となることがある。
- ・送迎時でのただの立ち話になってしまい、家族の思い・悩みにこたえることができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

職員が家族に電話や連絡帳・メールを通して要望や苦情・不安などを聞くことができるようになる。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 21日 (18:00~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	2人	0人	15人

前回の改善計画	4/1 までには利用者の要約した情報を申し送り帳に付け加え、利用者や家族との対話に結び付ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	要約した情報を活用し、本人や家族との会話から目標を知ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	⑨	5	1	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	⑨	4	1	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	⑦	6	0	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	5	⑦	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 送迎時での家族とのコミュニケーションや本人との会話で目標を知り、職員間で共有することで、必要な支援ができた。利用者の体調に合わせ、次の対応に活かした
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 排せつ・移乗・食事介助などの訴えを表情を見て支援を行うことはできるが、日々の会話で本人の目標がわかっても分かっていても、ゴールへ向けた支援を実践できていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ミーティングで日々の報告・連絡形式だけでなく、職員間で介護技術や医療の基礎的知識的を取り入れることにより、利用者の自己実現に繋げる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 21日 (18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	3人	0人	15人

前回の改善計画  
話しやすい利用者に声掛けする傾向がある。ミーティングではリーダーが声掛けの少ない利用者の名前を挙げて様子をみんなで確認する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
すべての利用者に声掛けができ、家族からの情報も職員間で共有でき支援することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	⑥	5	1	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	⑧	6	1	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	⑨	3	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	⑪	3	1	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	⑧	5	2	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
本人の状況に合わせて支援ができている。バイタルや表情・言葉の強弱から読み取って、その日の体調を判断できるようになっている。それをミーティングで共有し、帰宅時まで様子観察し家族へ連絡帳などで伝えることができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
「以前の暮らし方」「言語化」が少しできていないと感じている。「以前の暮らし」を理解する支援が足りないと思う。「言語化」はわかっているが、あいまいな表現になってしまい「排泄だろうか?」になっている。「排便」と単語にすることで支援がはっきりとしたものになる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
利用者の思いを「言語化」してみる。  
「利用者の叫ぶような声」＝「排泄」の訴えであり、トイレへ誘導する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月21日 (18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	1人	0人	15人

前回の改善計画	職員は利用者の送迎時に会う人に挨拶を欠かさない。 運営推進会議に民生員さんが参加してもらうように声掛けする
前回の改善計画に対する取組み結果	職員は送迎時に挨拶を行っている。 民生員さんにも声掛けは行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	⑨	3	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	⑩	2	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	⑪	3	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	⑦	4	4	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること (職員は)本人が自宅にいない時、地域の商店に来てなかったか確認している。 家族と同居の方は、自宅での様子を家族から会話をしながら確認することができる。 民生員さんは一部の職員は知っている。 地域資源の中には「認知症デｲﾌﾞ」の職員や「福祉用具」「訪問入浴」など日頃関わりのある職種もあるので気づきがあれば、全てが当てはまってくる。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 施設内のみで仕事従事していると考えているため、家族以外の地域資源の把握ができていない。 さらにもって地域の方々に挨拶ができれば、いつかは地域の資源となり、支援に繋がるので気づきを持つようになる。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者の周りにはたくさんのサービスを行っている方たちがいることに気づき、日頃から積極的に挨拶し情報を共有することで支援を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 21日 (18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	6人	1人	0人	15人

**前回の改善計画**  
今後も柔軟な対応を続けていく。家族へは利用者の様子を職員が送迎時や連絡帳・電話・メール等で伝えることができるようになる。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
家族からの相談があれば、職場内で検討し可能な限り対応している。その日の様子などから、本人が困っていることを理解し、対応できる職員は帰宅後でも本人の支援を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	⑥	3	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	⑨	5	1	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	⑩	4	1	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	⑦	⑦	1	0	15

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
些細なことでも地域の資源に相談することで問題解決することができた。  
本人の「困りやすい事」をその日のミーティングで話し合い、予測していったことで解決できた。  
家族の休養が重なりで複数名の宿泊も、当然のように受け入れる姿勢が夜勤者にあった。  
日勤帯での急な本人の体調不良には通いから訪問に切り替えることができたのも職員の受け入れる姿勢があったから。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
地域の資源を使えていないと考えている点が多い。理由は事業所内だけで利用者の支援を行っていると考えているため、地域資源との関わりが実際の目で確かめることができないため。  
コロナ禍で利用の変更が対応してあげられなかった。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
職員全員「本人に望ましい支援」を一つ提案できるようになる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 21日 (18:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	1人	8人	15人

前回の改善計画	地域のイベントや会議または包括支援センターの会議に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍で参加できなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	④	1	3	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	①	2	4	8
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	①	2	4	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	③	2	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・管理者・ケアマネが各種会議に参加している。 ・敷地内の駐車場で実習に来てくれた学生と職員で、利用者の誕生会を祝ってエイサーを披露したが、駐車場隣の保育園児の大きな拍手があった。 ・外回りの花壇に花植えやイルミネーションしたことで感謝の言葉をいただいた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域への行事にコロナ禍で参加できていないこともあるが、地域の予定を把握してない。 ・勤務外に時間を作る意識がないから。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
その他のサービス機関との相談を介護職もできるようになる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 21日 (18:00~19:00)

7. 運営

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	5人	15人

**前回の改善計画**  
 協働した取り組みの為、地域自治会の毎週水曜日の空き缶回収の協力を職員が家庭から持ち寄る!

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 ほぼ実践したが、途中入社の為わからなかった職員もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	⑨	5	0	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	⑧	3	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	⑦	4	2	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	⑥	⑥	1	15

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者・家族・介護者からの意見はより良い支援に繋げるため取り入れているようにしてる。
- ・登録者以外の地域の困ってる人のところに赴き、何が困りごとかを知る為に支援を行うようにしている。
- ・事業所のあり方にこうあるべきとの思いから、様々な意見が出る。
- ・コロナ禍でも地域とは年賀状のやり取りや買い物などを行い、つながりを保つことができている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・積極的には地域との関わりを持っていない。そのような機会が無かったり、近隣の保育園児がコロナ禍でこれなくなったり、関わりを持つことを考えなかったから。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)

前回より継続：協働した取り組みの為、地域自治会の毎週水曜日の空き缶回収の協力の為、職員が家庭から持ち寄る。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 21日 (18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	3人	0人	15人

前回の改善計画
・研修計画を立て研修に参加する。 ・定例会で月1回の勉強会を引き続き継続して計画する。 ・講師を招いて施設内研修を実施し、参加できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
オンライン研修を毎月数名は実践している。 講師を前回の研修は行えなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	⑦	⑦	1	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	⑧	2	0	15
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	1	⑩	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	⑨	4	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・コロナ禍でもオンライン研修に毎月参加し、ミーティングで研修の発表を行って情報共有ができた。 ・喀痰吸引等研修に参加し、スキルを磨くことができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・スキルアップの為の研修は無料で行われていることが少なく、参加できていないと考える職員が多い。 ・学ばなければいけないことが多く、一つ一つ自分自身の苦手な部分を克服できるように学習しないといけないが終業後にはできない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
リスクマネジメントに取り組むため、問題があれば課題を取り上げ知識・技術的に評価しアセスメントしていく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 21日 (18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	2人	3人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・月1回の勉強会の中で人権についてのテーマについて実施する。研修があれば参加できるようにする。</li><li>・月1回の定例会の中で人権についてのテーマについて実施する(9月までの間に)。</li><li>・人権に関する研修に参加する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	定例会で勉強会を行った。 人権に関する研修がなく参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	⑪	3	1	0	15
②	虐待は行われていない	⑬	2	0	0	15
③	プライバシーが守られている	⑪	4	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	⑤	⑤	4	1	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	⑨	5	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・介護する立場として、本人のプライバシーを守らなければいけないと思っている。身体的拘束や虐待もあってはならない。職員に介護のストレスが溜まっていないから、今は起こっていない。</li><li>・昨年、成年後見制度を活用し、近頃後見人が決まった。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・見守りの方をトイレ誘導後トイレから離れた間に、ドアを施錠してないがために別の方が入ってプライバシーを守ってあげられ中あった。</li><li>・成年後見制度の定例会で説明を受けたが、忘れてしまい知識になっていない。あるいは定例会に参加していなかった。</li><li>・虐待の恐れのある家族に対して、虐待の定義に納得してもらえず解決が出来ていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・「身体拘束・虐待」の(オンライン)研修を受け、原因と対策を知る。</li><li>・成年後見人制度のフィードバックを定例会で行う。</li></ul>	